

令和 7 年 10 月 7 日開催
令和 7 年度 第 2 回朝来市環境審議会に係る指摘と対応について

	区分	指摘事項	対応
協議事項（１）生物多様性地域戦略策定の進め方について			
1	生物多様性ホットスポットの検討と表記方法について	生物多様性ホットスポットの抽出について、情報を GIS 上で整理して抽出するとのことだが、例示された情報は陸域に偏っているようにみえる。朝来市はオオサンショウウオが生息する河川など、水辺や水生生物の観点も重要である。ホットスポットの抽出にあたっては、水生生物の情報も含めて解析するのか。 また、オオサンショウウオの保全については、河川の堰やダムが移動の障壁となっている。GIS で堰堤の場所の表示は難しいと思うが、どう対応するのか。[高木委員] 先ほど高木委員からの意見にあった、ダムや堰に関する情報については、ダムや堰を撤去するという議論ができない以上、扱いが難しいだろう。[増原委員]	ホットスポットの抽出に用いる情報の収集対象には、陸域だけでなく、水辺の生きものの情報も含める予定です。 ただし、堰やダムの情報については、オオサンショウウオの保全上重要な視点ではあるものの、入手可能な情報や整理の方針を検討した上で、収集の対象とするかを判断したいと考えています。
2	ヒアリング対象について	有識者ヒアリングの対象者として、豊岡市にある「兵庫県立コウノトリの郷公園」も考えられるだろう。[石田会長]	ご指摘を踏まえ、兵庫県立コウノトリの郷公園の布野 隆之 先生を鳥類の専門家として選定させていただき、ヒアリングを実施しました。
3		ヒアリング対象には、生物多様性保全を主目的として活動している団体だけでなく、農業者や林業者など一次産業従事者にも対象を広げた方がよい。[増原委員]	ヒアリングは一旦終了しましたが、次年度に追加のヒアリングを検討しています。ご指摘を踏まえ、地域の農業者・林業者への追加ヒアリングを検討させていただきます。

	区分	指摘事項	対応
4	貴重種の位置情報の扱いについて	GIS 解析で扱う貴重種の位置情報は、悪用される恐れがあるため取り扱いには注意してほしい。他自治体のレッドデータブックなどでも、ピンポイントの生育位置は示していない。また、傍聴が可能な本審議会での扱い方にも注意が必要である。 [増原委員]	貴重種の位置情報は内部情報とし、公開はしないことを前提としています。また、本審議会での扱い方にも十分留意いたします。
5	その他	ヒアリング先検討において自然環境に関する市民団体が少ないとのことだったが、「市民団体の育成」を施策として位置づけることを検討してはどうか。[石田会長]	次年度の施策検討の際に、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

協議事項（２）生物多様性地域戦略策定に係るアンケート案について

1	回答率の向上について	市民アンケートの回答率は低下傾向にあるので、回答率を上げる工夫としてボールペンを同封するなど、アンケートを見てもらえる仕掛けがあるとよい。あるいは朝来市独自のポイント還元などを検討してはどうか。[増原委員]	ボールペンの同封やポイント還元の実施はできませんでしたが、極力アンケートの中身を確認いただけるよう、イラストを多く使用した上でフルカラー印刷のアンケート用紙とし、少しでも楽しみながら回答いただけるように工夫しました。 アンケートの回答率は市民が 39.5%、中学生が 86.3%、事業者が 46.5%と、郵送実施において一般的な目標回答率とされる 30%を超える回答をいただけたので、一定の効果はあったと考えています。
2		回答率を上げるため、アンケートや各質問の目的、戦略への活かし方がイメージできるようなコラムや、回答の例示があると望ましい。[藤原委員]	作成から実施までのスケジュールの都合上、コラムなどの追加はできませんでしたが、極力選択問題としたり、回答の例示を記載するよう工夫しました。

協議事項（３）環境基本計画等に係る令和６年度実施評価について

1		資料の情報が多いため委員が分担して評価したり、事務局や委員が総評を作成する方法がある。[増原委員]	令和８年度から環境基本計画等の評価を開始します。評価の方法は今後研究していきたいと考えています。
---	--	---	--